

ゆめ・まち・みらい vol.35

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」グループ従業員向け情報誌 [2017年秋号(年4回発行)]



ぜひご家庭でもお読みください

地域のニーズや課題に 真摯に向き合い、 協働を推し進めていこう

ゆめ・まち・みらい トップインタビュー

杉山 健博

(阪急阪神ホールディングス 代表取締役社長)

●阪急阪神
未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート

●「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」
の新たな取り組み
「阪急阪神 ゆめ・まち
ソーシャルラボ」が始まります!

●グループ従業員の
ボランティア活動レポート



ソーシャルグッズ
読者プレゼント 詳しくは
裏表紙へ



阪急阪神ホールディングス グループ



こちら事務局

お買いものを通じて、楽しく社会貢献を♪
第10回ゆめ・まちフェアトレード商品販売会

六甲ガーデンテラス「ホルティ」から、フェアトレードチョコレートや、ぬくもりを感じる雑貨類、安全にこだわった食品・お酒などを多数ご用意。自分へのご褒美、職場のおやつ、クリスマスプレゼントにフェアトレード商品はいかがですか? ぜひお越しください!!



開催日程 各日 11:30~14:00開催

- ①12月 6日(水) 阪神電気鉄道本社ビル 10F ホール
☆同時開催☆障がい者による手作り商品販売会
(阪神電気鉄道 人事部主催)
- ②12月 8日(金) 阪急電鉄本社ビル 1F エコルテホール
☆同時開催☆障がい者による手作り商品販売会
(阪急電鉄 人事部主催)
- ③12月11日(月) 宝塚大劇場 1F 統括大会議室
- ④12月14日(木) KHD東京ビル 8F 会議室
- ⑤12月15日(金) 第一ホテル東京 B3F 第3会議室
- ⑥12月18日(月) 大阪新阪急ホテル B2F 従業員食堂別室
- ⑦12月19日(火) ハービスOSAKA 14F リフレッシュルーム

お支払方法:PiTaPa決済、現金支払(12月14日・15日開催分は、現金支払のみ)
※200円お買い上げごとに社会貢献ポイント1ポイントGET! ぜひお越しください!

ロハス度チェック「クロスワードパズル」に
トライしてみませんか? 締切:11月30日(木)

涼しい秋が訪れ、節電や節水などエコ活動に取り組みやすくなりましたね。ロハスをテーマにしたクロスワードパズルを楽しく解いて、社会貢献に関するメッセージを完成させてください。チェック用紙は、下記ゆめ・まちプロジェクトHPの従業員ページからダウンロードして、メール・FAX・郵送などでご提出ください。チェック用紙のご提出で、社会貢献ポイント(5ポイント)がたまります。また、参加者20人ごとに、六甲山の植樹活動に苗木を1本寄贈します。職場の皆さんで、ぜひご参加ください!

チェック用紙の提出先: 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局
住所: 〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号
TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
E-mail: yumemachi-point@hankyu-hanshin.co.jp

公式Facebook始めました!

皆さまに、よりたくさんの情報をお届けしたいという想いからFacebookを始めました。社会貢献にまつわる活動をはじめ、ご家族やご友人、職場の方と楽しく参加できるイベント情報も多数紹介していきますので、ぜひフォローしてください!

Facebookアカウント
『阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局』

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)
shakai@hankyu-hanshin.co.jp
TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
URL: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>
※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



ソーシャルグッズ
読者プレゼント



5名様に
プレゼント

フルーツキャンディバー
ソープ

企画から製造、
包装まで...全て
障がい者が手作業で
行っています



人と環境に優しい
フォトジェニックな石けん

思わずかじりつきたくなるフルーツバー。これ、実は石けんです。障がい者と働く喜びを共有し、彼らの社会的な自立を応援する「株式会社リンクライン」のバスグッズブランド「liiii'i(リイリイ)」の商品なのです。純植物性の素地でつくられたグリセリン石けんのため、洗顔に使えるほど肌に優しく保湿力も抜群。また使用後、河川に流れても分解されやすいので環境への負荷も少ないのです。使うことで社会貢献や環境保護につながります。

価格/1,080円(税込)
販売/株式会社リンクライン
URL/<https://liiii.link/>

ギフト
としても
おすすめ!

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「ソーブプレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2017年10月31日(火)

編集後記

こどもに豊かな経験を!と親になり思うように。グループの社会貢献イベントを親子で楽しみたいです。12月のフェアトレード商品販売会は、買い物するだけで社会貢献ができるので、皆さまぜひ!(中野 英里佳)



はじめまして!新メンバーの水口です。今年7月からSNSでの情報発信がスタート。皆さまに楽しいイベントや、ボランティア情報などたくさんお届けできるようがんばります!(水口琴音)

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは
「未来にわたり住みたいまち」づくりをめざし、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組み当社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索



阪急阪神ホールディングス 代表取締役社長 杉山 健博

地域のニーズや課題に真摯に向き合い、協働を推し進めていこう

2017年6月、阪急阪神ホールディングスの経営トップに就任された杉山社長。当社グループの成長戦略を進めていく上で、8年目を迎えた「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」(以下ゆめ・まちプロジェクト)はどのような役割を担うのか…。社会貢献活動への想いを伺いました。

いま「まち」の実現は、お互いのコミュニケーションにはあり得ません。今の「ゆめ・まちプロジェクト」は、「環境づくり」と「人づくり」を基軸に、双方を良く意識して、時代の流れに合った活動を展開していると思います。

「環境づくり」では、自然環境の保全はもちろんのこと、「子ども110番」活動など、ひと昔前なら重きを置けなかった安心や安全に着目して、地域の環境づくりに努めています。昨今、急速に高まってきた危機管理の視点を取り入れることで、よりニーズを満たしていくことになるでしょう。

「人づくり」についても、少子化問題が叫ばれている現代において、次世代の育成は喫緊の課題。特に「ゆめ・まちプロジェクト」では、こどもの感性や人間教育につながる良質なプログラムが数多く用意されていると感じます。例えば、職業体験ができる「阪急阪神ゆめ・まちチャレンジ隊」は、キャリア教育の環として小学生に社会のことを知ってもらうきっかけとなるでしょう。また先日、私も参加させてもらいましたが、「阪急ゆめ・まち親子チャリティコンサート」も良いですね。感性のベースが作られる幼い頃に、本物の芸術に触れる効果は計り知れないと思います。

我々の社会貢献活動をさらに成長させていくために

「ゆめ・まちプロジェクト」を今後さらに成長させていくためには、大きく2つの方向づけが必要です。1つは、地域との関係性をより深めていくこと。我々だけでできることには限界がありますから、いかに周囲を巻き込み、協働していくかが重要ではないでしょうか。そのためには、NPOなど市民団体を助成するプログラム「未来のゆめ・まち基金」の実現は、お互いのコミュニケーションにはあり得ません。今の「ゆめ・まちプロジェクト」は、「環境づくり」と「人づくり」を基軸に、双方を良く意識して、時代の流れに合った活動を展開していると思います。



長期ビジョン2025

スローガン **深める沿線 拡げるフィールド**

持続的な企業価値の向上

戦略1	戦略2	戦略3
ストック型事業(梅田・沿線)	ストック型事業(首都圏・海外)	フロー型事業
関西で圧倒的No.1の沿線の実現	首都圏・海外での安定的な収益基盤の構築	ブランド価値の最大化と差別化戦略の徹底追求による競争力強化
戦略4 グループ総合力の更なる発揮と新事業領域の開拓		

長期ビジョンは、当社グループの「経営理念」と毎年度策定(ローリング)する「中期経営計画」との橋渡しの役割を果たします。

①森林保全に取り組む市民団体。「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」では、従業員の募金を基に、阪急阪神沿線の市民団体を助成している。②こどもの環境教育に取り組む市民団体。当社と市民団体が協働して、お客様向けの様々な体験プログラムを開催。③梅田の街を舞台に、ビルの灯りを消し、キャンドルを灯す「1000000人のキャンドルナイト」。④店舗やタクシーなどでまちの安全を見守る「こども110番活動」。⑤⑥⑦「阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊」では、グループの事業ノウハウを活かし、小学生向けの体験学習を展開。⑧梅田芸術劇場で一流のオーケストラによる「阪急ゆめ・まち 親子チャリティコンサート」を開催し、チケット売上を全額寄付。⑨小学生が仕事について学ぶ出張授業形式のキャリア教育「ゆめ・まち わくわくWORKプログラム」。

(③④は「環境づくり」、⑤～⑨は「人づくり」に関する各社の活動例)

め・まち基金」のウェイトをもっと高めていくことが必要だと考えています。もう1つは先にも触れましたが、時代に合わせて、地域のニーズや課題を的確に吸い上げ、柔軟に対応していくこと。最初から「これは社会貢献」、「これは事業」と線を引かず、あらゆるステークホルダーの声に耳を傾けながら、長期ビジョンに沿った活動を、大から小まで推し進めていってほしいと願っています。

最後に、従業員の皆さんに一言。これは多少、自戒の念も含んでいますが、私達は社会の一員としていろいろな人に支えられて生きています。そのことを忘れずに、一人ひとりが少しでも社会に還元しようと思う気持ちを持ってほしい。仕事を通じて社会貢献できれば、それもいいでしょう。プライベートな時間を使ってボランティアをするのも素晴らしいことだと思います。構えずに、自分が興味を持って取り組める方法で長く続けて下さい。社会貢献は「始める」ことはもとより、「やり続ける」ことも大事なことです。

同じ方向を目指している
社会貢献活動と事業活動

「ゆめ・まちプロジェクト」は当社グループの社会貢献活動です。しかし、私は、このプロジェクトは我々企業グループのあり方や価値向上そのものに深く関わっている取組だと強く思っています。

今年5月にグループの「長期ビジョン2025」を策定したことはご存じかと思いますが、その中に、我々の目指す姿として「関西で圧倒的No.1の沿線の実現」を掲げました。No.1の沿線とは何でしょうか。人が住みたくなる沿線？ 住む人が幸せになれる沿線？ 住むことに誇りを持てる沿線？ いずれも然りでしょう。それはまさに、「ゆめ・まちプロジェクト」の基本方針である「未来にわたり住みたいまち」づくりと、全く同じ方向を目指すものです。沿線の価値向上は即ち「住みたいまち」をつくること。当社グループは、事業活動のミッションがそのまま社会貢献活動となる、とても幸運な企業なのです。

「ゆめ・まちプロジェクト」の起ち上げから、今年で8年になりますが、10年足らずでここまでグループ全体に根付いてきたのは、やはり企業理念と活動の親和性が高いからだと思っています。

時代のニーズを反映した
取組が大切

社会貢献活動は、とすると善意が先に立ち、受け手の求めるものからずれてしまうことがあります。個人ならばそれでも仕方がないでしょう。しかし、企業主体の活動において我々が心掛けるべきは、地域の方々の声やニーズをよく聞き、その期待にしっかりと応えていくこと。「住みた

series
78こどもも親も、
友だち100人できるかな？親子をやさしく
受けとめたい。おもちゃで遊ぶこども達。遊
び方が変わっていくことで
成長が感じられる。

NPO法人 はんもっく

T E L : 072-723-0254
E-mail : hammock_minoh24@yahoo.co.jp
U R L : https://minoh-hammock.jimdo.com/
事務所 : 箕面市

核家族化や少子化が進む昨今、こども達がさまざまな人と関わる機会が減ってきた。そんなこどもや親に体験づくりや交流の場を提供し、こどもの成長を促す団体「はんもっく」が箕面市にある。

例えば、未就学児の親子が対象の地域親子クラブでは、自己紹介ゲームなどを楽しみながら関係性を育むプログラムを展開。親から離れなかったこどもも次第に周囲と打ち解け、親同士も仲良くなれるのだ。加えて子育て中のトラブルなどに関する講座も

開催されるので、親の悩みの軽減にもつながっている。

また、子育てサークルへ出向いてプログラムを行う出前企画も実施。体育館で運動したり、新聞紙など身近なものを使ったりして遊ぶのだが、決まった遊び方には縛られない。モットーは「みんなちがって、みんないい」。こども達の個性や成長に合わせて創造性を育てつつ、子も親も共に支えて受け入れる。まさにハンモックのような包容力で、次世代育成の輪を広げている団体なのだ。

series
79耕作放棄地も高齢者も
農業で再びいきいきと！

少子化・高齢化で働き手が減り、耕作放棄地は増える一方…。日本の農家が抱える問題への解決策を打ち出したのが「元気ファーマいながわ」だ。立ち上がったのは地元の高齢者。耕作放棄地を利用して農園を運営し、年間約70種類の野菜を栽培。言うなれば“自産自消”の野菜として道の駅などで販売している。また、河川敷や道路沿いに菜の花やヒマワリなどを植栽する活動も。耕作放棄地の整備や地域の環境・景観美化に一役買っているのだ。

さらには、青少年や障がい者を対象とした野菜づくり教室も開催。若い世代と交流することで、農業のやりがいなどを伝えられ、地域の絆も深まり一石二鳥。地域での認知度が高まるにつれ、JA等の機関からも野菜づくり指導の依頼が来るように。平均年齢68歳の会員達が中心となり、生涯現役・生涯青春の心意気で、地域の活性化に寄与しているのだ。

NPO法人 元気ファーマいながわ

T E L : 072-766-2307
E-mail : r-akizawa@jttk.zaq.ne.jp
事務所 : 猪名川町

サツマイモの収穫。採れた野菜は道の駅や各
種イベント、学校給食などに提供している。元気さは
野菜に
負けていない。お寺で
お寺で
授業！
修行？series
77一緒に学ぶ、個性を磨く。
21世紀の寺子屋へおいでよ！

人工知能などの登場により、今のこども達は将来、想像もできない職業に就くかもしれない。就業を取り巻く環境が変化する中、「寺子屋プロジェクト」では働き方の軸になるものをこども達に教えている。代表の荒木勇輝さんは語る。「どんな職業でも幸せに働くためには、学び続ける主体性や実行力が求められます。こども達が将来より良く働くためには、それらを伸ばせる新たな教育環境が必要。そこでこの団体を立ち上げました」

学びの場は青蓮院門跡と妙心寺壽聖院、東本願寺しんらん交流館。なんとお寺である。「文字通り寺子屋が理想でした。地域に開かれて、信頼できる大人がたくさんいて、なおかつ勉強に集中できる環境…ということでお寺に打診したところ、快諾してくださったんです。また、社会はあらゆる人々で構成されています。教育の現場も、どんな家庭環境のこどもも通える多様性に満ちた場所であってほしい。そのために奨学生制度※も設けています」

コースは主に3つ。「学び合いコース」では、こどもが各自で学びをデザインする。苦手分野や、志望進路の必須科目など、10年先までの目標から逆算して今学ぶべき内容を決めることで、自己分析力や、計画性や判断力を養うのだ。「探究コース」では自分で選んだテーマを1年間じっくりと探究する。情報の調べ方や資料の扱い方などを実践しながら学び、答えへとたどり着く手段の体得にも役立つ。コンピュータ上でパズルなどの問題に取り組む「プログラミングコース」は、算数や数学、情報科学を楽しみながら学ぶことを重視している。さらに、研究者や芸術家を招

いて、普段教室に通っていない親子も対象としたワークショップも実施。荒木さんは語る。「こどもには、自分を表現する術を知ってほしいんです。例えば、人前で全然話せなかった子が、ある日、皆の前で共同学習の意義について自分の言葉で発表したときには感激しました。日々の学習で、独自の意見を主張できる自信が培われたんでしょうね。信頼関係の中で学習できる場をつくっていくことが、私達大人全体の使命だと再認識しました」

※就学援助を受けているこどもを対象に、後述の「学び合いコース」の受講料を全額免除する制度。

約60名のこどもに対し、
スタッフは約30名と手
厚い。学習内容は各自
さまざまだが、画一的な
指導でないからこそや
りがいいとかが。

NPO法人 寺子屋プロジェクト

団体では、活動を支援していただけるサポーターを募集しています。詳細は下記の公式サイトにてご確認ください。

T E L : 050-3690-4152
E-mail : mail@teraschool.jp
U R L : http://teraschool.jp/
事務所 : 京都市

グループ従業員の ボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが3万円を支援する「ゆめ・まち“ええこと”応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

2017 年度
vol.3



おはなしひろば“ぐりとぐら”／川西市 阪急阪神ハイセキュリティサービスOB 松田 利哉さん
笑ったり、考えたり…絵本で心が動く瞬間を届けたい。

公民館や幼稚園、小学校、高齢者施設などを中心に、絵本の出張読み聞かせを行っています。こども達には手遊びや歌、シニアの方には俳句を織り交ぜながら、読書の楽しさを伝えつつ、脳や心も活性化できるよう工夫しています。明るい内容の絵本で笑いが起きるときもうれしいのですが、愛や友情をテーマにした絵本に聞き入って、シーンとする瞬間も感動が伝わってきて素晴らしいもの。支援金を使って開いた絵本作家の先生による研修会では、絵本の歴史や魅力を改めて学びましたので、今後の活動に役立てたいですね。



男性2名、女性14名で活動しています。参加された方は大歓迎ですよ！

シルバーアドバイザー高槻/高槻市

阪急電鉄OB
故・北川信一さん

高齢者を中心に小学校などで地域ボランティアを行いました。



フォルテFC/豊中市

阪急バス
倉内光一さん

支援金が保護者からさまざまな援助をしていただけるきっかけに。



鈴蘭台少年野球部/神戸市

阪急電鉄
眞鍋靖彦さん

支援金で購入したボールを使い、楽しく練習に励んでいます！



新南大新ファミリーズ/和歌山市

阪急阪神ロジパートナーズ
中島毅さん

軟式少年野球を通じ、少年少女の健全な心身を育みます。



千里南丘少年野球部/豊中市

阪急コンストラクション・マネジメント
善入真一さん

支援金のおかげで購入できた野球道具が大活躍しています。



ガールスカウト兵庫県第66団/宝塚市

阪急電鉄
大藤恵代さん

女性が自ら行動できる人材に成長することをめざす団体。



瀬田東たけのこ児童クラブ保護者会/大津市

阪急阪神ビジネスアソシエイト
藤木佐智子さん

支援が地域住民との協働・共生の後押しとなりました。



真道会館(大庄北支部)/尼崎市

阪神電気鉄道
玉沖好広さん

パンチ&キック用ミットとヘッドガードを支援金で購入！



茨木郡VBC/茨木市

阪急バス
中林学さん

支援金のおかげで低学年の部員も試合に参加できました。



市民団体の活動参加のススメ

File 23 第8回全国学生防災書道展を見に来ませんか

阪神・淡路と東日本大震災、昨年の熊本地震のほか、自然災害の脅威を忘れず、その経験と教訓を後世に伝え備え活かすため、防災を表現した書作品を学生から募集し、入賞作品を展示します。

応募期間：2017/10/1(日)～12/1(金) (締切必着)
展示会期：2018/2/10(土)～2/12(月・祝)
参加費：1点 350円～1,500円 (詳しくは下記HPをご確認ください)

お問合せ先：NPO法人 健康まちづくり推進協会
TEL：078-996-0693 E-mail：office@bousai-syodou.jp
URL：http://bousai-syodou.jp/



お子様にぜひおすすめください!!

File 24 人権講座「発達障がいの子どもの理解～共生への道 私たちにできることは…～」

発達障がいのある子どもやその家族が社会的に生きづらさを感じているということとをより多くの方々に知っていただき理解を深めるとともに、お互いのことを受けとめ合いながら「共に生きていく」ために、私たち大人に何ができるのか、一緒に考えてみませんか。講師 田中 康雄さん (こころとそだちのクリニックむすびめ院長、北海道大学名誉教授)

日時：2017/10/29(日) 13:30～16:30
場所：クロスパル高槻8階 イベントホール
参加費：無料 定員150名(申込順) 10/3より高槻市青少年センター 電話072-685-3724、窓口、簡易電子申込みにて受付。

お問合せ先：CAPみしま・大阪
TEL：072-681-6866 E-mail：cap-mishima-osaka@y7.dion.ne.jp
URL：https://capmisima.jimdo.com/



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の新たな取り組み

始まります！

「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」

沿線コミュニティベース「スタジモにしのみや」とは

地元で活動するコミュニティの方々のための「人と情報が集まる場」として、2015年に阪急西宮ギャラリー内にオープン。地域の魅力を高め、交流することで、新しい創造が始まることをめざしています。



このたび、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」では、グループ各社や市民団体との更なる協働の推進や、新たなお客さまの参加機会創出など、「未来にわたり住みたいまち」への共感を高めることを目的とした新しい取り組みを始めます。その名も「ゆめ・まちソーシャルラボ」！3か月ごとに取り上げるテーマを決めて、阪急西宮ギャラリー内の「阪急西宮ギャラリー・スタジモにしのみや」や駅を拠点に、ワークショップや展示などのイベントを開催します。

ご紹介するのは、阪急阪神沿線で、地域環境づくりや次世代の育成に取り組む、市民団体の活動やグループ各社の社会貢献活動。10月以降もさまざまな活動を紹介していきますので、ぜひご期待ください！

活動予定

①10～12月のテーマは「地域をさぐるのって、おもしろい！」

記念すべき初回は、意外と知らない身近なまちの魅力のさぐり方を紹介！歴史や地形、生物多様性などさまざまな角度からまちを見つめ、その本質に迫ります。

●「多くの出会いがある！」ゆめ・まちショーケース 西宮北口駅ほか 10月28日(土)

カリオン広場展示10:00～17:00、ウォークツアー(定員:20名) 13:30～16:00
西宮地域の自然や歴史、地形などの魅力を「こども環境活動支援協会」による展示や駅を起点とするウォークツアーを通じて紹介します。

●「つながり募集！」ゆめ・まちプレゼン スタジモ 11月15日(水) 18:00～20:30 定員:20名

地域に根差した活動に取り組む3団体(こども環境活動支援協会、宝塚市自然保護協会、阪神文化財建造物研究会)が集まり、各団体が「今、伝えたいこと」をプレゼンします。参加者とのトークセッションを通じて、今後の活動の展開などについて語り合います。

●「発見!体験!」ゆめ・まちワークショップ スタジモ 12月26日(火)・27日(水)

各日①11:00～12:00 ②13:30～14:30 ③15:00～16:00 定員:各親子20名
阪神間の自然を守る「宝塚市自然保護協会」が、「クイズで学ぶ阪神の自然&落ち葉のステンドグラスづくり」をテーマに、親子向けのワークショップを行います。

②スペシャルイベント

●みんなで考える「未来にわたり住みたいまち」 梅田駅 1月予定 阪急梅田駅 1階中央WEST広場 紀伊國屋書店前

梅田駅に、「住みたいまち」への想いを集める、お客さま参加型の展示パネルが登場!「未来にわたり住みたいまち」とはどんな「まち」かをフセンに書いて、パネルに貼り付けていただきます。「キッズニア甲子園ペア入場券」や「グループホテル食事券」などが当たる抽選会も開催。みんなの想いをパネルに浮かべます!



8/7・8活動レポート RED NOSE DAY

with クリニクラウン&ゆめ・まちプロジェクト

RED NOSE DAYとは、8月7日(鼻の日)に、笑顔のシンボルである赤い鼻をつけて、身近な人と笑顔を贈り合い、笑顔の輪を広げていこう!というキャンペーン。阪急西宮北口駅のカリオン広場では、長期療養のこども達に笑顔を届ける活動をしている日本クリニクラウン協会が主催するこのキャンペーンへの参加を呼びかけました。



また、スタジモにしのみやでは、親子でクリニクラウンに変身するワークショップや、入院中のこどもから笑顔を引き出すクリニクラウンのひみつを知る講座を開催。つらい時でも笑顔が力になることを伝えました。



詳細は「Facebookのゆめ・まち公式ページ」にて発信! ぜひフォローのうえ、グループ従業員の皆さまも職場の方と、ご家族と、お一人でもご参加ください。

フェイスブック ゆめ・まち 事務局

検索